

政策コメンテーター報告(第1回)【意見照会期間:2016年2月12日～2月22日】: 武輪 俊彦 武輪水産株式会社代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2016年2月上旬から2月下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年11月上旬から11月下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのでご参照ください。</p>	悪くなっている	<p>三陸の主力魚種は前年の盛漁期が軒並み不調だったため、水産加工業者は加工原料の確保に苦慮している。受注が確保できているところでも人手不足のため稼働を上げられずにいる業者も見受けられる。国内品の代替として、外国産原料の海外加工品も店頭に出始めている。今後、円高基調が継続すれば、輸入原料の価格が下がることにより、稼働率向上と採算性の改善が期待できる。漁業者も操業状況の良否に差があるが、燃油価格の低下で採算を維持している。</p>
2016年前半に取り組むべき課題			
2	<p>2016年前半において、記載した3つの課題に関し、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について、具体的な推進方法や手法がありましたらご紹介下さい。</p> <p>また、これら3つには含まれないが、同様に重要だとお考えの課題がございましたら、その推進方法とあわせて具体的にご記載下さい。</p>	-	回答なし